

2021 年度大谷高等学校「入試問題出題傾向」および 「新型コロナウイルス感染症対応に伴う入試問題配慮」について

*2021 年度から新学習指導要領での入試となることを見据え、本校では、昨年度に入試問題の変更箇所をまとめたものをお伝えしました。更に今年度は、新型コロナウイルス感染症対応に伴う入試問題対策のための出題範囲配慮を、基本的には京都公立高等学校入試に準じて対応させていただく予定であります。それらを併せて以下にお伝えいたします。

〔国語〕

2020 年度入試より⇒「同意変換」「理由説明」「内容合致」などに加え、本文を読んだうえの「話す力」「考える力」の分野に関連したものも出題

2021 年度入試出題除外項目⇒「書写に関する事項」

〔社会〕

2020 年度入試より⇒短答式は減らして資料の読解を増やし、考察させたり文章を選択させる問題を加える

2021 年度入試出題除外項目⇒「私たちと国際社会の諸課題」

〔数学〕

2020 年度入試より⇒小問集(2020 入 8 題 2021 入 10 題)、大問(2020 入 3 題 2021 年度入 4 題)

2021 年度入試出題除外項目⇒「三平方の定理」「標本調査」

〔理科〕

2020 年度入試より⇒理科的な思考力を問う問題を大問で 2 つ出題

2021 年度入試出題除外項目⇒第 1 分野のうち「科学技術と人間」 第 2 分野のうち「自然と人間」

〔英語〕

2020 年度入試より⇒大問③をリニューアル

2021 年度入試出題除外項目⇒「関係代名詞」を設問で問わない